

○ねらい

読み聞かせの活動を通して、物語をとらえる見方を獲得していく。

○学年

全学年で対応できます

○所要時間

20分以上（読み聞かせする冊数により変更できます。）

○授業展開

学習活動	留意点
<p>T『桃太郎』のお話は知っているかな？</p> <p>C知っている。</p> <p>Tどんなお話か、簡単に話してみて。</p> <p>C（簡単なあらすじを話す）</p> <p>Tでは、本当にそうなのか。今から読み聞かせして確かめてみるね。</p> <p>・読み聞かせをする。最初は、『桃太郎』の話を1～3冊読む。（『ももたろう』（松井直）、『ももたろう』（いもとようこ）、『ももたろう』（松谷みよ子）など。）</p> <p>Cええ、「どんぶらこ」って言わないの？</p> <p>Cええ、桃をたべちゃうの。</p> <p>Cええ、桃太郎って寝太郎だったの。</p> <p>Cええ、昔話のオールスターが出てきちゃうの。</p> <p>T実は、違うのは言葉や表現だけじゃないんだよ。ちょっと読んでみるね。</p> <p>・『それからの鬼ヶ島』を読み聞かせをする。</p> <p>Tこの本は、アフターストーリー、つまり時間軸がずれたんだね。ずれるのは時間だけじゃないんだ。次の本を読んでみるね。</p> <p>・『桃太郎が語る桃太郎』『空からのぞいた桃太郎』を読み聞かせする。</p> <p>Tこの本は、何がずれたかわかるかな。</p> <p>C視点が違う。</p> <p>Tそうだね。物語って、どこからみて描かれているのかによってこんなに違うんだね。「視点」とか「語り手」という言葉は、国語の授業でもとても大事な言葉です。</p> <p>Tみんなが当たり前前に思っていた『桃太郎』のお話でもこんなに違うんだね。それは、『桃太郎』が語り継がれてきた民話としての特徴ももつからだよ。</p> <p>Tでは、『浦島太郎』や『金太郎』などももしかしたら読み比べてみると、色々な違いがあるかもしれないね。「知っている」で終わらせることなく、ぜひ昔話の本も手に取って、改めて読み比べてみてくださいね。</p>	<p>・読み聞かせをするため、できれば前に集めたいが状況による。</p> <p>・時間と学年に配慮して、多少読み飛ばしてもよい。</p> <p>・違いに気づいた子もつぶやきは広げてあげるようにする。</p> <p>・「視点」「語り手」「時間軸」などの学習用語を子どもとともに獲得していくことが重要である。</p>